

だんだん



虹の花の香りに誘われて

5月23日(土)～31日(日)、当間高原リゾートでアイリスまつりが開催されました。その色彩の美しさから外国では虹の花と呼ばれるジャーマンアイリス。54種類、約17,000本が花だいら一面に咲き誇りました。まつり期間中は延べ10,000人が訪れ、初夏の甘い香りを満喫していました。

愛称「だんだん」は、方言のあいさつ「だんだんどうも」、「河岸段丘・棚田」、「ステップアップ」などを表しています。

主な内容

- いよいよこの夏開幕!大地の芸術祭③……………2-4
- めざせ!観光交流都市とおかまち③……………5
- 十日町産コシヒカリ認証制度/職員募集ほか…6-7
- 協働のまちづくり情報⑭……………8-9
- 地域の風～支所からのたより……………10-11
- ときめきネットワーク/元気予報ほか……………12-13
- まちの話題TOPICS / AEDほか……………14-15
- お知らせ・ガイド……………16-19
- ジュニア芸術祭-松代小学校-……………20

昨年、市内の観光協会が一本化され、十日町市全域が一体となった観光事業の取り組みが可能となりました。各地域にある魅力的な観光資源を一体的に活用・宣伝することにより、大勢の観光客を呼び込み、観光を産業に結び付けていく取り組みを進めています。

■松之山温泉合同会社の設立
昨年、松之山温泉の旅館や飲食店、住民などが共同出資して、松之山温泉合同会社「まんま」を立ち上げ、



松之山温泉を化粧品に商品化、肌やさしいと評判の「松之山温泉ミスト」

■観光協会の一本化
市内にある多くの魅力的な観光資源を一体的に活用するため、これまで各地域にあった5つの観光協会を一本化し、5支部体制の「十日町市観光協会」が昨年5月に設立されました。これにより、広域的な観光事業が展開でき、各支部間の相互連携、情報共有もスムーズに行うことが可能となりました。今後、組織を強化し、魅力的な観光情報や受け入れ企画の提供を行うことにより、大勢の観光客を呼び込み、地域や産業経済の活性化（観光産業化）を進めていきます。

●問合せ 市観光協会 ☎757-3345

◎新・観光ポスター（B1サイズ）無料配布

◎新・観光名刺（第60回十日町雪まつり、第28代ミス十日町雪まつり、国宝火焰型土器群など）1箱500円（100枚入り）。クロス10、市役所売店などでも販売。文字の印刷代が別途必要

◎観光協会会員ピンバッジ 1個500円

※市観光協会に加入を希望する個人や商店、企業、団体の皆さんを募集しています

～観光交流年を契機に観光産業化を目指します～



うまさぎっしり新潟

新潟DCのシンボルマーク

■これまでの十日町市の観光
市町村合併前は、観光に対する住民の意識や取り組み内容に違いがあるため、それぞれの観光協会が観光事業を進めてきました。例えば、松之山エリアでは、日本に誇る名湯「松之山温泉」があるため、観光が地元産業の基軸となっています。一方、十日町エリアなどでは、年間をとおして特色あるイベントを開催することにより、観光客を呼び込んでいますが、観光が産業に結び付いていないなど、地域によつて観光に対する認識に差があります。

松之山を楽しむオプショナルツアーを企画・販売することができるようになりました。松之山は、市内でも観光産業化が進んでいる地域です。観光協会が一本化されたことを契機に、ほかのエリアでも観光を産業に結び付けていく取り組みをより一層進めていくことが重要になります。

■観光を産業に結び付けるために
まずは、市内の飲食店や菓子屋、土産屋、宿泊施設などの皆さんから、観光客に市内でお金を使ってもらえるような取り組みを進めることが大切です。例えば、十日町市ならではの土産やお菓子、地元食材の料理の開発や販売などが挙げられますが、市民一人ひとりも「十日町市の観光セールスマン」という意識を持つことが大切です。今年の大観光交流年を契機に市民と行政による協働で「観光立市」を目指しましょう。

今年、市観光協会では、お土産品コンクールを開催する予定です。市内を訪れた観光客のすてきな思い出となるような逸品を、応募してください。詳細は後日お知らせします。

十日町市の新しい観光宣伝ツールができました

観光名所やイベントなどを広く全国にPRするツールを作成しました。本町分庁舎の市観光協会にて配布・販売しています。利用希望者は気軽に問い合わせてください。

◎新・観光ガイドブック 無料配布



神社境内に設置されるダンボールのかご

のかごが設置されています。七夕に短冊やツタを絡ませたりするワークショップを計画しています。

中里エリア作品制作レポート 『千溝博物館』プロジェクト （千溝）

◎作家…法政大学国際文化学部 稲垣立男研究室／日本

千溝集落の歴史を掘り起こし、地域の魅力を再度見つめるプロジェクト。既に稲垣研究室は何度も地元の行事に参加して、皆さんとの交流を深めながらプロジェクトを進めています。

この夏は「子ども」をテーマに地元の皆さんを取材し、生活や思い

出、記録を集め、集落内の一軒の家で博物館として展示します。今後は「秘密基地をつくる」「千溝テレビ、千溝ラジオの番組制作」「千溝キャラクターのデザイン」などのワークショップや、「子どものころの遊びの思い出」「子どものころの遊び場」「千溝の歴史」の聞き取りを計画しています。芸術祭を一つの成果として、将来的には集落の活性化につなげていきたいと考えています。



地元の人に取材する稲垣研究室の学生

松代エリア作品制作レポート

『サウンド・パーク』

（松代城山と農舞台周辺）

◎作家…岩井亜希子×大場陽子／日本

美術を学ぶ傍ら、ピアノの演奏活動や指導者として活躍する岩井亜希子さんと、作曲家として映画音楽や音楽イベントのプロデュースなどを手掛ける大場陽子さん。この2人の作家がまつだい農舞台の周辺に、音が鳴るブランコや音が鳴る木、ミュージック・スライダーなど、遊具と音を組み合わせた作品を制作します。

オリジナルの遊具からは、どんな音が聞こえてくるでしょうか。見ているだけでは退屈です。里山にこだまする音を実際に体験してみてください。



設置される遊具のイメージ

松之山エリア作品制作レポート

『上鰻池名画館』

（上鰻池）

◎作家…大成哲雄／竹内美紀子／日本

前回の大地の芸術祭では大成哲雄さん、竹内美紀子さんがそれぞれ上鰻池に「棚田弁当」と「はがきプロジェクト」の作品を制作しました。今回は同じく上鰻池に2人の作品を手がけます。世界の名画に登場する場面を上鰻池の現実の風景や人から探し出し、写真に収める作品です。もとの写真と上鰻池で撮った写真の違いから地域の特性が垣間見えます。

現在、名画に登場する人物を上鰻池の皆さんからモデルになつてもらい、写真を撮影中です。



上鰻池に登場する名画館のイメージ



市では、来訪者・消費者が安心して十日程産コシヒカリを食べられるよう、市内で生産されたコシヒカリを提供する店・宿泊施設などの認証を行います。この認証制度は、十日程産コシヒカリのPRだけでなく、飲食・宿泊業の振興も目的としています。

認証店はコシヒカリマップに掲載し、観光パンフレットといっしょに各所で配布するとともに、ホームページなどでPRします。

対 象 市内で十日程産コシヒカリ（他品種とのブレンド米は除く）を提供している飲食店・宿泊施設など

申請方法 認定申請書に次の2つを添付して提出
 ・誓約書
 ・十日程産コシヒカリである証明書
 （米穀商・農家の証明／自家栽培の場合は申請者が証明）
 ※証明書は毎年提出が必要

その他 ①市で審査し、要件を満たした飲食店などを台帳に登録して認証状を交付します。
 ②認証状は店内の見やすいところに掲示してください。
 ③標版（アルミ製）・ステッカー・のぼり旗を販売しますので、希望する人は申請書類とともに申込書を提出してください。

第1次申請締切 6月30日（火）（必着）



米粉消費拡大と新しい特産品の開発を目的に、十日程産コシヒカリ米粉を使った新しい形の「あんぼ」を、6次産業振興室と学校法人北陸学園の製菓・製パン学科・専攻学科の講師の皆さん、加工グループの皆さんとで共同開発します。米粉は、新潟県が開発した微粒製粉技術を使って製粉したものを使う予定です。次の条件を満たす加工グループなどの皆さんはぜひ参加をお願いします。

- ◎ 固定観念にとらわれず、積極的に共同開発に参加できる人
- ◎ 現在、あんぼの製造をしている人、または近々始めたい人
- ◎ 保健所の許可を得た加工所を現在所有している人、または近々所有予定の人
- ◎ 共同開発した製品の統一ブランド・統一価格・統一流通に同意できる人

■ 申込み締切 6月30日（火）（必着）

平成22年度採用

十日町市職員（保健師）募集

平成22年4月1日採用の十日町市職員（保健師）採用試験を実施します。
 問合せ〓総務課人事係 ☎757-9787

募集職種・人数・受験資格

保健師 1人
 保健師の免許を有する人（平成21年度の国家試験での取得見込者含む）
 ※昭和54年4月2日以降に生まれた人。
 （採用日前日に31歳に達しない）

※平成22年4月1日採用の学校教育法による大学卒業者を対象とした一般事務上級の募集、高等学校卒業者などを対象とした募集の予定はありません。

試験方法

【第1次試験…筆記試験】
 期日〓7月26日（日）
 会場〓十日町保健センター
 試験科目〓教養試験、専門試験、適性試験、作文
 【第2次試験…面接試験】
 期日〓8月23日（日）予定（会場など詳細は、1次試験合格者に直接通知）

申込み

土・日曜日、祝日を除く6月26日（金）までの午前8時30分～午後5時30分に、必要書類を総務課人事係に提出（持参する場合は本人以外でも可、郵送可）※6月26日（金）必着

必要書類

- ①職員採用試験申込書（総務課人事係に配置、市ホームページhttp://www.city.tokamachi.niigata.jp/にも掲載）
- ②成績証明書（最終卒業学校のもの。卒業見込者は最近までのもの）
- ③卒業証明書（来春卒業見込者は卒業見込証明書）
- ④保健師免許の写し（取得見込者を除く）
- ⑤返信用切手（80円切手2枚）
 ※申込書類は返却しません。

給与（初任給）

172,200円（21年4月1日現在、経験年数により異なります）

起業のチャンス

十日町市新商品等開発支援事業募集

新商品開発のための試作品づくりやアイデアの提案を応援します。

● 補助対象事業 ①製作部門…製品開発のための試作品製作、対象経費50万円以上、補助限度額100万円のデザイン、販売・サービス方法などの企画、対象経費20万円以上、補助限度額20万円 ③アイデア部門…起業を視野に入れた商品開発のためのアイデアの具体化、補助対象経費5

万円以上、補助限度額10万円 ④起業準備部門…③の取り組みで事業採択された人による起業準備（設備投資）、補助限度額20万円（ただし、事業採択の翌年度に限る） ● 対象企業 ①②のみ、個人、グループ ● 補助率 ①補助対象経費の2分の1以内 ● 申請期限 ①6月30日（火） ● 申込み・問合せ ①産業振興課雇用開発室（☎757-3139）

郷土資料双書15

「縮問屋 加賀屋の世界」 —古文書から読み解くふるさとの歴史—

中越地震を機に情報館へ寄託された膨大な蕪木家文書群をもとに、江戸時代に越後縮の集散地として栄えた十日町の縮問屋を紹介した冊子（B5版132ページ）を刊行しました。縮問屋の経営のあらまし、奉公人の生きざま、美しい越後縮などの見本裂79点を実寸大のカラー図版で紹介しています。ぜひご利用ください。

■ 頒布価格 2,000円
 ■ 問合せ 情報館

☎750-5100

十日町市

協働のまちづくり推進指針

その一

市民・職員合同プロジェクトチームが中心になって策定作業を進めてきた「協働のまちづくり推進指針」の内容を、今回からお知らせします。

チームメンバー発案のキャラクターが案内役を務めますので、いっしょに内容を確認して活動に役立てましょう。

はじめに

十日町市総合計画では「公民協働による行政の推進」を掲げています。

市民や地域、各種団体と行政それぞれが、まちづくりの主体（担い手）として役割を分担して力を出し合うことが、協働の基本的な姿です。

協働は、さまざまな取り組みをとおして、少しずつ浸透していくものです。そのために、それぞれが力を合わせて課題の解決や地域目標を実現していくためのガイドライン、つまり羅針盤が必要です。それが「協働のまちづくり推進指針」です。

指針策定の過程では、市民活動団体のヒアリングと、それに基づく行政ヒアリングを実施し、協働のまち

づくりモデル事業の検討をとおして指針内容を積み上げました。

公募による20人の市民と21人の市職員による合同プロジェクトチームが13回の全体会議と数回の班別会議を実施し、内容がまとまりました。

肩書きや年齢にこだわらない、ごく普通の市民と市職員が同じテーブルで議論し理解を深めながら、一つのものを作り上げていく過程こそ、協働の第一歩と言えるでしょう。

協働には、市民と行政の協働も市民間の協働もあり、どちらも重要です。協働の取り組みが市内各地で日常的に展開されることが、やさしさと活力ある十日町市をつくる源となるのではないのでしょうか。

この指針は、このようなまちづくりを目指してつくられたものです。

今なぜ協働なのか

1 市民活動団体ヒアリングから見てきたこと

社会的な時代背景を反映してさまざまな問題が見えてきました

- 若年層の減少と高齢化により各団体の人材、後継者が不足しています。
- 山間地集落単独での行事や環境維持、雪対策などに不安があります。
- 市街地を中心に、価値観やライフスタイルの多様化による地域コミュニティの衰退が心配されています。
- 産業活動の停滞や将来への不安から、団体や地域間の連携・交流など多様な対策が求められています。
- 情報化社会が進みながらも、身近な情報の受発信が不足しています。
- 活動資金不足や将来への活動継続への不安感があります。
- 公共施設などの整備・拡充要望と活動環境への不満があります。
- 社会や生活の変化により、公共サービスはますます多様化しています。
- 財政環境の悪化などにより、行政中心の公共サービスの継続が困難になっています。
- 各団体とも、行政に依存し要望しているだけでは問題は解決しないという危機感を持っています。

3 協働による取り組みの原則

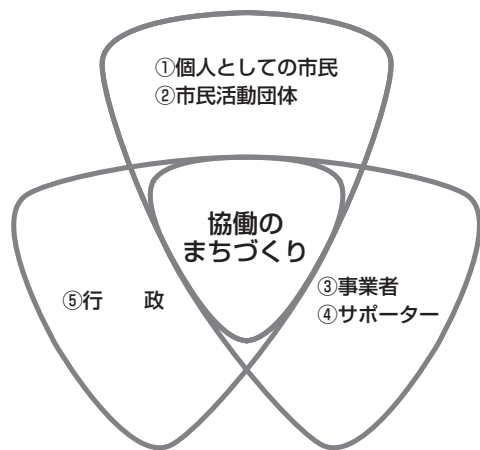
十日町市にかかわるあらゆる主体とは

「新しい公共」を担い、協働の取り組みを行う主体（以下、「協働の主体」は、次のように区分できます。

- (1) 個人としての市民
 - ・ 市民（在勤・在学者を含む）
- (2) 市民活動団体
 - ・ 集落、町内会、地区振興会、地域協議会などの地域自治組織
 - ・ 老人クラブ、青年会、PTAなどの地域組織
 - ・ ボランティアグループ、NPOなどのテーマ型組織
- (3) 事業者
 - ・ 市内の企業・公益法人など
- (4) 市外応援者・サポーターなど
- (5) 行政

協働の原則（ルール）

協働の主体が理解し、守るべき原則は次のようにまとめられます。



- (1) 対等の原則
上下や依存の関係を持たない。
- (2) 自立の原則
各主体は自立を目指し認め合う。
- (3) 自主性尊重の原則
自主性を尊重し強要しない。
- (4) 相互理解の原則
お互いを理解し信頼関係を築く。
- (5) 目的共有の原則
課題と目的を共有して取り組む。
- (6) 役割分担の原則
役割や責任を明確にしておく。
- (7) 情報公開・共有の原則
情報を公開し共有して取り組む。
- (8) 評価の原則
取り組み内容を評価し次に生かす。



新たな動きや思いも 見えてきています

● 技術や知識、得意分野を持つ団体は、子どもたちに伝え地域に貢献したいと考えています。

● 交流、地域活性化などの活動団体は、他団体や地域との連携により活動の質を上げたいと考えています。

● 地区振興会や地域協議会を中心に自治活動が行われ、自分たちでできることは頑張ろうとしています。

● 背景には、昔からの支え合いの実績があり、中越大震災の復興活動で、隣近所や各地域で支え合うことの重要性が改めて認識されています。

● 子育てや教育、高齢者支援などの活動団体は交流を求め、活動の充実や自立化を目指しています。

2 「新しい公共」の創造

行政が中心となって担ってきた 「公共」の限界

市民団体ヒアリングからも分かるように、社会情勢や市民一人ひとりの価値観の変化が、市民ニーズを多様化、高度化させています。

それが、「公共」（社会全体にかかわる市民生活上必要なこと）が、個人の力では解決することが困難なもの）の範囲を拡大させています。

あらゆる主体が担つ 「新しい公共」の創造

地方分権の進展は、自治体に自主・自立性を求めるようになっていきます。市民も行政も「自主自立」の自覚を持ち、住みよく魅力的な十日町市をつくる必要です。そのために、市民の主体的なまちづくりへの参加により、互いに「知恵」や「能力」を出し合い、生かしていくことが必要です。

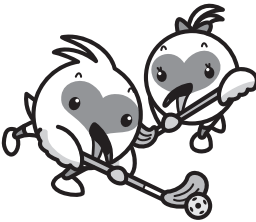
拡大する「公共」を、これまでのように行政が中心となって担っていくことは、厳しい行財政状況の中で困難になっています。

地方分権の進展が求める 自治体の主体性・自立性

市民同士や市民と行政の協力によるまちづくりの取り組みとともに、ヒアリングで見えてきたまちづくりへの意欲的な取り組みや力の高まりを生かして、十日町市にかかわるあらゆる主体が、拡大する「公共」を担っていく必要があります。こうした活動で支えられる「公共」が「新しい公共」と言えるでしょう。

「協働」とは、「新しい公共」を創造していくために、市にかかわるさまざまな主体がそれぞれの知恵や力

2009 トキめき新潟国体 デモスポ



ユニホッケー 教室のお知らせ

6月19日(金)に中里体育館、7月5日(日)に市総合体育館で教室を開きます。詳しくは市報5月25日号のお知らせ(18ページ)をご覧ください。

ユニバーサルホッケー大会で盛り上がり！①

10月4日(日)、中里中学校体育館で、2009トキめき新潟国体デモンストレーションスポーツとしてユニバーサルホッケー大会が開催されます。中里地域は新潟県内でのユニバーサルホッケー発祥の地です。今回から10月の大会が終わるまで、ユニバーサルホッケーの魅力や中里地域での取り組みなどを連載で紹介します。

◆ユニバーサルホッケーはどんなスポーツ？

十日町市体育指導委員で、新潟県ユニバーサルホッケー協会中里支部長でもある吉楽一彦さんに聞いてみました。「皆さん、アイスホッケーはご存知だと思います。ユニホッケー(ユニバーサルホッケーの略称)は、それを氷の上でなく、体育館などの屋内でできるようにした



貝野スポーツクラブ練習の様子

気軽なスポーツ。6人ずつの2チームが、1つのボールを取り合い、相手のゴールに数多く入れた方が勝ちとなるゲームです。だれでも楽しめるよう、必ず男女混合でチームを組むなどルールも工夫されています。6月・7月と教室を開きますので、初めての人も気軽に、どんどん参加してください」

ながさと つながる 通信

中里支所
☎763-3111



ボランティアによる資料の搬入



まつだい郷土資料館(手前)と収蔵庫(奥)

まつだい郷土資料館は、建物自体が持っている古民家の風合いをそのまま生かした展示が施され、松代の歴史と文化が自然な形で来館者に伝わるよう工夫を凝らしています。まつだい駅南側は、農舞台などの現代アートと古民家を活用した資料館との対照が相乗効果を生み、より一層魅力が高まるのが期待されます。

「壊さないように気を付けるんだぞ!」「それは収蔵庫に入れるものだこて」と声が飛び交います。まつだい駅南側への移築工事が完了した「まつだい郷土資料館」の開館準備のために、地元ボランティアグループ「まつだいふるさと文化応援団」を中心に、多くの皆さんが汗を流してくれました。池尻にあった旧松代郷土資料館の解体前に、展示されていたすべての資料を旧室野保育所に移動したのもこの皆さんでし

文化の継承と交流拡大に期待 『まつだい郷土資料館』

7月11日(土)

開館

た。今回はその資料を新資料館へ戻す作業に、再び大勢の力が結集しました。

まつだい ステーション

松代支所
☎597-2220

すそ野広がりにぎわう棚田



5月23日(土)・24日(日)、白羽毛集落の皆さんと芸術作家の青木野枝さん、多摩美術大学の学生たちが田植え交流を行いました。大地の芸術祭をきっかけに始まった交流は今年で3回目。過去最多の40人が田植えに汗を流し、学生たちの予想以上の頑張りに、予定していた棚田はあっという間に苗が植え尽くされました。年々、他大学の学生やリピーターの卒業生などが加わり、交流のすそ野が広がっています。2回目の参加という山田香緒里さんは、「白羽毛の人たちも棚田も魅力的で気に入って来ている」と話していました。

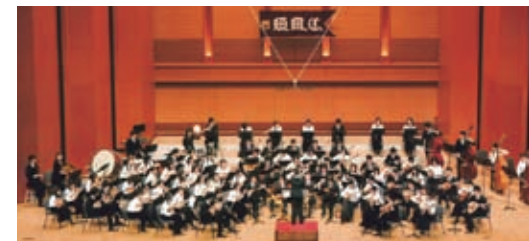
田代集落は、市の無形民俗文化財に指定されている田代神楽が有名です。集落の人たちによって大切に受け継がれてきた神楽は、150～160年前に東頸城地方から伝えられたといわれ、狂言や踊りなど多彩な演目で構成されています。現在は後継者不足などで神楽を披露する場が少なくなったということでしたが、5月9日(土)にあった寄り合いでは、7月19日(日)に開催する恒例の七ツ釜まつりで神楽を披露しようと、全員で気持ちを一つにしました。保存会長の桑原直幸さん(61歳)は、「一時は神楽をやめようと思いましたが、若い人や女性に加わってくれて、また頑張ってみようという気になりました。まつりでは、たくさんの人に楽しんでもらいたいです」と話していました。



中里 たから 探し

田代編

早大マンドリン楽部演奏会



松代地域と早稲田大学との交流30周年記念事業の一つ「早稲田大学マンドリン楽部演奏会」が開催されます。マンドリン楽部は、1913年(大正2)から続く伝統あるサークルで、春と秋の定期演奏会や早慶ジョイントコンサートなど精力的に活動しています。早大マンドリン楽部がフルオーケストラ編成で奏でる音色を聴いてみませんか。

◎日時: 6月13日(土) 午後6時30分～(6時開場)
◎会場: 松代総合体育館 ◎入場料: 無料
◎曲目: 「眠れる森の美女」よりワルツ 大河ドラマメドレー など
◎問合せ: 交流30周年記念事業実行委員会(松代支所内 ☎597-2220)

松代の自然 52

ブナの花が咲いた

平成21年は、平成天皇在位20年と御成婚50年に当たる記念すべき年ですが、それを祝うかのようになにやらブナの花が咲きました。ブナは毎年花が咲くわけではなく、数年に一度という頻度です。花といっても、サクラやウメのような華麗なものではなく、地味なものが房のように垂れ下がります。大木の上のことなので、間近に観察することが容易ではなく、まともに見たことのない人が多いのではないのでしょうか。花は雄花



ブナの花

と雌花があり、雄花は垂れ下がって咲き、受粉が終われば落下します。地上や残雪の上におびただしく落ちていたのは雄花です。雌花は受精が済むと堅い殻となり、中に三角の実を結びます。これをこの辺の人たちは「コノミ」と呼んで、落ちたものを拾い集めて食べることがあります。脂っこく風味のある味は生き物たちにもごちそうで、クマはなめるように食べ脂肪を蓄えて冬眠に備えます。

コノミを煮て食べた記憶をお持ちの人は少なくなったことでしょうか。懐かしい故郷の味。

(文と写真 高橋八十八)



阿部 泰周 ちゃん

あべ たいしゅうちゃん
平成18年5月16日生まれ
本町6-1 (写真左)



48



根津 勇真 ちゃん

ねつ ゆうまちゃん
平成17年8月4日生まれ
八幡田町 (写真右)

チラシで作った特製の剣で、妹のみゆうちゃんやじいじ、ばあばと戦いごっこをするのが大好き！いつも元気いっぱいなゆうまちゃんは、大きくなったら消防車に乗るのが夢です。

ときめき ネットワーク

お年寄りの健康を守るために

十日町が好きですね。高校卒業後も地元から離れたくないため、自宅から通える栄養士養成学校に進学しました。栄養士は地味な仕事ですが、生活の基本である食をとおして健康を管理できる充実感があります。

今の会社に就職して10年になります。仕事はとても楽しく、職場の雰囲気も最高です。何よりお年寄りから、「ありがとう、ご飯おいしいよ」と言われるとうれしくなります。

休みの日はジムで汗を流していることが多いです。趣味というか、体力向上のトレーニングですね。栄養士という仕事が多いイメージがありますが、仕事の9割は調理室での立ち仕事です。私は体が小さくて、大きな腰を痛めたことがあるので、職場の皆さんに迷惑をかけないように自己管理に努めています。

現在子育てに奮闘中です。夫婦共働きなので家族や職場の協力に感謝しています。これから少しずつこの職場で働きたいです。



村山 恵 さん

1976年生
市内特別養護老人ホーム勤務
(石本商事㈱所属)

先月の竹内寛揮さんからのバトンタッチ。



問合せ 健康支援課成人保健係 ☎757-9764

6月から住民健診が始まります

市では、職場や学校、人間ドックなどで健康診断を受診する機会のない人に住民健診を実施しています。年齢によって健診時に必要なものが異なりますので、確認をお願いします。

16歳から39歳の人

●自営業や主婦の人、会社などで健診の受診機会がない人

【持ち物】

- 健康診査受診票兼受診券
- 受診料 2,000円

40歳から75歳の人

●十日町市国民健康保険に加入している人

【持ち物】

- 保険証※必ずお持ちください

76歳以上の人

【持ち物】

- 健康診査受診票兼受診券

※昨年度と会場が一部変更になっている地区がありますので、確認してください。

※受診日を変更したい場合は、受診予定日の前日までに健康支援課または各支所市民課まで連絡してください。

※住民健診や各種がん検診は、随時申込みできますので問い合わせてください。

★1年に1回は健康診断を受けましょう

健康診査（住民健診）の検査項目

身体計測（40～74歳は腹囲測定あり）、血圧測定、検尿、血液検査（脂質・血糖・肝機能・貧血）
※一定基準の中で、医師が必要と認めた場合のみ、心電図・眼底検査を実施

ごみ減量のすすめ③

マイバッグやマイバスケットで買い物を！

現在、国内では年間300億枚のレジ袋が消費されています。レジ袋1枚を作るのにおよそ1杯の石油が使われますので、200ℓドラム缶に換算すると、なんと300万個分。1人当たりでは、年間約300枚を使っている計算になります。

レジ袋は、とても便利。買い物以外にも、自家製の野菜を運んだり、ゴミ箱の内袋にしたりといろいろ使えます。しかし、資源には限りがあります。石油はあと40年で無くなってしまうともいわれています。

レジ袋を減らしただけでは石油の問題は解決しませんが、これをきっかけに普段の生活を見直しませんか。

現在の十日町市のマイバッグ持参率は30%です。
1人がマイバッグ持参を5年間続けると、レジ袋1,500枚分の節約になります。

《マイバッグキャンペーンのお知らせ》

6月17日(水)午後4時30分から、リオン・ドール十日町店、原信十日町店、ジャスコ十日町店の店頭でキャンペーンの呼びかけを行います。
皆様のご協力をお願いします。



市民生活課環境政策室 ☎757-3740





まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係（☎757-3112）へ、気軽にお寄せください。

tokamachi topics



早稲田大学の講義を松代で体験 早稲田松代塾

5月24日(日)、早稲田大学松代セミナーハウス（蒲生）で松代早稲田協力会主催による「早稲田松代塾」（塾長：平澤茂—早稲田大学名誉教授）が開講されました。この講座は、松代地域と早稲田大学との交流30周年記念事業として行われているものです。佐藤能丸早稲田大学講師による5回の連続講座で「近代日本の思想と文化」と題し、幕末から戦後にかけて日本の思想と文化に影響を与えた10人の人物を学びます。第1回のこの日は、福澤諭吉と大隈重信。佐藤さんは日本近現代史が専門で、2人の歴史上の功績に加え、ときおり実生活でのエピソードなどを漫談調で話し、終始受講生に興味を引き付けていました。この講座は今年から毎年度開講され、どなたでも受講できます。



十日町産コシヒカリを用いた地域おこし

6月1日(日)、十日町商工会議所で第1回十日町おにぎり軍団総会が開催されました。ご当地グルメによる地域おこしの取り組みが全国各地で行われる中、日本一の十日町産コシヒカリを使い産業を創造しようと、商工会議所青年部が事務局として昨年から取り組んできたものです。軍団では、手のぬくもりや愛情を感じる名物料理として十日町おにぎりを提案。31の飲食店などが加盟し、今年行われる大地の芸術祭や産業フェスタ、十日町雪まつりなどでおにぎりをPRしていきます。総会後は懇親会も行われ、参加者たちはおにぎりをほおぼりながら今後の活動について意見を交わしました。



新緑の中で大名行列

5月24日(日)、第39回節黒城山開きまつりが川西地域の節黒城跡で開催されました。節黒城は、南北朝時代の1352年（正平7）、新田一族の拠点として築城されたと伝えられています。山頂での安全祈願祭の後、中条の大井田城をはじめとする、市内・小千谷市に点在する8城との間でのろし交換が行われ、これを合図に祭りのメインである大名行列が、新緑のまばしい山を下り始めました。中腹の広場に到着後、埋蔵金探しや芸能大会が催され、大勢の人出でにぎわいました。

AEDで人命を救う取り組み

AEDは自動体外式除細動器といい、電気ショックで心臓を正常な状態に戻すことが可能な器械です。突然死の死因の多くに心臓疾患があり、心停止10分後にはほとんどの方が救命のチャンスがなくなります。早期にAEDを使うことで救命率を高めることができます。と期待されています。

AEDの操作は簡単です。電極のついたパッドを胸にはると、器械が自動的に心臓の状態を判断します。心室細動という不整脈を起

こしていれば、強い電流を一瞬流して電気ショックを与え、心臓の状態を正常に戻す機能を持っています。電源を入れると使用方法を音声案内が指示してくれますので、だれでも使うことができます。人が倒れたときなどはなかなか冷静に動けないものです。AEDの使い方だけではなく、心臓マッサージなども含め、消防署や日本赤十字社新潟県支部で実施している救命講習を受けておくことが安心です。

AEDの設置状況

AEDを設置している主な市の施設などは、次のとおりです。地域行事などの利用で貸し出し可能なAEDもありますので、希望する人は健康支援課に問い合わせてください。

- 市役所本庁舎（健康支援課、教育委員会）
- 本町分庁舎
- 各支所市民課
- 市総合体育館
- 吉田クロスカントリーハウス（スポーツ振興課）
- 中央公民館
- 清津峡トンネル管理事務所
- キナーレ
- ひだまりプール
- 川西診療所
- 倉俣診療所
- 中里歯科診療所
- 松之山診療所
- 芝峠温泉雲海
- 市内小・中学校

■問合せ 健康支援課

☎757-3719

地域資源活用・農商工等連携セミナー

市（6次産業振興室・産業振興課）では、新潟県中小企業団体中央会と協力して、地域資源の発掘や新商品などの開発・市場化に取り組む団体を支援しています。その一環として、次のとおりセミナーを開催します。

- 日時 7月10日(金) 午後1時30分～4時40分
- 会場 クロス10
- 内容 ①午後1時30分～講演「地域資源活用・農商工等連携の取り組み、活用事例」相楽治氏（㈱グリーンシグマ専務取締役）
- ②午後3時～講演「地域資源・農商工等連携にまつわる商標・特許」佐々木明彦氏（新潟県支部）
- ③午後3時40分～個別相談会（地域資源ビジネス、農商工連携ビジネス、商標・特許など）
- 申込み・問合せ 7月3日(金)までに、申込書（市役所本庁・支所・分庁舎に配置）に記入のうえ、FAXで新潟県中小企業団体中央会（FAX 025-267-1386）へ。☎025-267-1100

市にAEDを贈呈

5月11日(月)、市長室で十日町ライオンズクラブからAEDの贈呈が行われました。クラブ設立40周年を記念して市の施設に設置してもらおうと、田村順一会長からAED 2台が関口市長に手渡されました。田村会長は、「当クラブの設立40周年記念として何かいいものをと考え、AEDを贈ることとしました。人の命を救うのに役立ててほしいです」と話しました。





付けています ●問合せ 食の文化祭実行委員会（中里支所地域振興課内 ☎763-2511）

公民館設置60周年記念事業 水沢・川治・六箇地区 公民館俳句大会

日時 6月14日(日)午前9時～午後3時 ●会場 宮中ダム、水沢公民館 ●参加費 3,000円 ●問合せ 水沢公民館 (☎758-3101)

新緑のランドマークツアー

森林浴を満喫しませんか。自然観察員の解説付きです。 ●日時 6月28日(日)午前8時30分～ ●集合場所 清津峡ホテルせとぐち ●参加費 大人1,000円、小学生以下500円 ●定員 先着20人 ●持ち物 昼食、雨具、着替え ●申込み・問合せ 6月24日(木)までに市観光協会中里支部 (☎763-3168)

エコアクション21 取得講座

エコアクション21は、中小企業が取り組みやすい環境経営システムです。環境への取り組みの推進だけではなく、事業所の光熱水費などの経費節減や生産性の向上が期待できます。講座は8月から12月まで6回行われます。

エコアクション21 取得講座

エコアクション21は、中小企業が取り組みやすい環境経営システムです。環境への取り組みの推進だけではなく、事業所の光熱水費などの経費節減や生産性の向上が期待できます。講座は8月から12月まで6回行われます。

す。 ●受講料 無料 ●申込み・問合せ 7月10日(金)までに市民生活課環境政策室 (☎757-3740)

第28回十日町小唄 日本一優勝大会

日時 7月5日(日)午前9時30分～(開場9時) ●会場 クロス10 ●入場料 無料 ●問合せ 市観光協会 (☎757-3345)

とおかまち市民楽校 〈マネー編〉

日時 6月26日(金)午後7時～8時30分 ●会場 中央公民館 ●参加費 無料 ●定員 40人 ●テーマ くらしに身近な金融講座 ●講師 小林敏之さん (金融広報アドバイザー) ●申込み・問合せ 生涯学習課 (☎757-8918)

レクダンス講習会

日時 6月23日(火)午後7時～(受付6時30分) ●会場 市民体育館 ●参加費 500円 ●持ち物 内履き※運動のできる服装で参加 ●問合せ 高橋 (☎757-2686)

震災復興イベント 西田尻音とほたるのタベ

音楽を聴きながら蛍を楽しみませんか。 ●日時 6月21日(日)午後7時～ ※雨天の場合は室内

での演奏と蛍のスライドショー ●会場 西田尻集落 ●参加費 大人1,000円、中・高校生500円、小学生以下無料 (ワンドリンク付き) ●申込み・問合せ 西田尻区長・樋口 (☎763-2431)

犬のしつけ教室

生後4か月～1歳前後の犬を飼っている人が対象です。 ●日時 7月8日(水)・15日(水)・22日(水)午後7時～8時30分 (3日間で1セット) ●会場 十日町保健所駐車場 ●受講料 2,000円 (動物愛護協会会員は1,000円) ●定員 先着15人 ●申込み・問合せ 十日町地域振興局健康福祉部衛生環境課 (☎757-2707)

介護予防サポーター 育成講座

日時 6月26日(金)～8月7日(金)の毎週金曜日・8月21日(金)午前9時～11時30分 (全8回) ●会場 サンクロス十日町 ●対象 高齢者の介護予防活動の支援に興味のある人 ●参加費 無料 ●定員 30人 ※昨年度未受講者のみ ●申込み・問合せ 6月19日(金)までに市社会福祉協議会 (☎750-5012)

おだまき山の会市民登山

百名山「白山」への1泊登山です。 ●期日 7月25日(土)・26日(日) ●参加費 25,000円 ●定員 先着30人 ●申込み 6月25日(木)までに中央公民館 (☎757-5011) ●問合せ おだまき山の会・保坂 (☎758-3380)

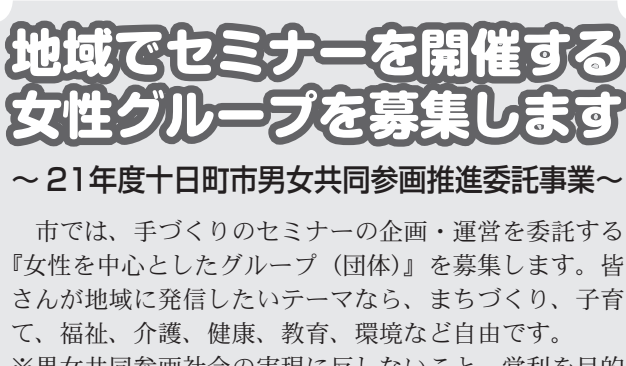
キナーレ体験工房館 浴衣着付け教室

日時 6・7月の毎週木曜日午後1時30分～3時30分 ●会場 キナーレ ●参加費 1回500円 ※浴衣一式持参 (有料貸し出しあり) ●定員 10人 (当日受付可) ●申込み・問合せ キナーレ (☎752-0117)

長岡技術科学大学 オープンキャンパス

申込み方法など詳しくは問い合わせください。 ●日時 7月26日(日)午前10時～午後3時30分 ●会場 長岡技術科学大学 (長岡市) ●対象 高校生・高専生・短大生・中学生及び教師、保護者など ●内容 公開研究室、模擬講義、入試相談ほか ●申込み・問合せ 7月15日(水)までに長岡技術科学大学入試課

申込み方法など詳しくは問い合わせください。 ●日時 7月26日(日)午前10時～午後3時30分 ●会場 長岡技術科学大学 (長岡市) ●対象 高校生・高専生・短大生・中学生及び教師、保護者など ●内容 公開研究室、模擬講義、入試相談ほか ●申込み・問合せ 7月15日(水)までに長岡技術科学大学入試課



地域でセミナーを開催する女性グループを募集します

～21年度十日町市男女共同参画推進委託事業～

市では、手づくりのセミナーの企画・運営を委託する『女性を中心としたグループ(団体)』を募集します。皆さんが地域に発信したいテーマなら、まちづくり、子育て、福祉、介護、健康、教育、環境など自由です。 ※男女共同参画社会の実現に反しないこと、営利を目的としたものでないことが条件です

●事業期間: 7月～22年2月 ●委託料: 上限20万円 ●応募締切: 7月10日(金) ※7月中に応募者へ結果を通知 ●応募方法: 希望するグループは、総合政策課、公民館などに配置してある応募用紙か任意様式に、グループ名・代表者住所・氏名・連絡先・グループPR・セミナーのテーマ・概算事業費を記入し総合政策課に提出してください。(FAX、メールも可) ●問合せ: 総合政策課自治振興係 ☎757-3193 FAX 752-4635 電子メール: t-sogo@city.tokamachi.lg.jp

上越テクノスクール 訓練受講生募集

建設機械技能検定の試験合格を目標に、実技講習を行います。 ●受講期間 7月11日(土)・12日(日)午前9時～午後4時 ●受講料 3,900円 ●定員 20人 (申込み多数の場合抽選) ●会場 申込み・問合せ 6月24日(水)までに県立上越テクノスクール (☎025-545-21)

キナーレフリーマーケット 出展者募集

オープン6周年イベントに合わせて出店しませんか。 ●日時 7月5日(日)午前10時～午後4時 ●会場 キナーレ ●出店料 1区画500円 (テーブル、イス付き1,000円) ●定員 先着20区画 ●申込み・問合せ キナーレ (☎752-0117)

環境家計簿をつけませんか

皆さんの家庭でどれくらいの日酸化炭素を出しているか分か

魚沼地域職業訓練センター 受講生募集

詳細は問い合わせください。 ●【玉掛け技能講習】 ●受講期間 7月27日(月)～30日(木)のう

里親を募集します

さまざまな理由から家庭で生活できない子どもを家族の一員として温かく迎え、愛情を持って養育してくれる人を募集しています。 ●申込み・問合せ 南魚沼児童相談所 (☎025-770-2400)

あなたの「心のステップアップ」応援します

成人講座【男の料理】 参加者募集

今までまったく料理をした経験がなくても大丈夫です。持ち物など詳細は各公民館に置いてある申込書をご覧ください。

●会場=中央公民館 ●参加費=2,200円 ●定員=先着25人 ●申込み・問合せ=7月1日(水)までに、申込書に参加費を添えて中央公民館 ☎757-5011

曜日・時間	内 容	講 師
7/7(火) 午後7時～	いざ料理! 料理の基本は包丁から「包丁を研いでみよう」	井之川勝一さん
7/21(火) 午後7時～	新じゃがでおいしい「肉じゃが」を作ろう	志田 中 さん
8/4(火) 午後7時～	簡単、おいしいピザ作り	志田 中 さん
8/18(火) 午後7時～	旬のトマトでパスタを作ろう	志田 中 さん
9/1(火) 午後7時～	ひき肉料理「メンチカツ」	関野裕子 さん
9/15(火) 午後7時～	妻有ポークを使って「メンディッシュ」	関野裕子 さん
10/6(火) 午後7時～	秋野菜を使ったデザート	金木明子 さん
10/20(火) 午後7時～	フルーツたっぷりデザート	金木明子 さん
11/4(水) 午後7時～	「煮魚」を上手に作るには	滝沢由紀 さん
11/17(火) 午後7時～	魚を下ろして刺身のお造り	山崎宏樹 さん
12/1(火) 午後7時～	手軽にできるおせち料理	滝沢由紀 さん
12/15(火) 午前7時30分～	卸売り市場の見学	十日町生鮮食品

ち3日間午前8時30～午後6時
●受講料 118,500円 【粉
じん作業特別教育】 ●受講日 7月6日(月)午前9時55分～午後4時 ●受講料 7,160円【第2種酸素欠乏危険作業特別教育】 ●受講日 8月10日(月)午前9時25分～午後4時40分 ●受講料 7,760円 ●会場・申込み・問合せ 魚沼地域職業訓練センター (☎025-772-4554)

公営住宅入居者募集

●募集期間 6月12日(金)～26日(金) ※入居資格などの詳細は問い合わせてください ●申込み・問合せ 克雪維持課建築住宅係 (☎757-9935)

募集住宅	建設年度	構造	間取り	家賃(円/月)	募集戸数
十日町地域	S47年度	簡易耐火造2階建	6帖3室、3帖1室、DK	19,700～29,400	1戸
田川住宅	S53年度	鉄筋コンクリート造3階建	6帖2室、4.5帖1室、DK	14,800～22,000	2戸
松代地域	S51年度	簡易耐火造3階建	6帖1室、4.5帖2室、DK	11,800～17,600	3戸

河川愛護モニター募集

●応募資格 満20歳以上で信濃川・魚野川に接する機会があり、河川愛護に関心を持ち河川からおおむね5km以内に住んでいる人 ●内容 信濃川・魚野川にかかわる河川愛護活動や地域情報などを月に一度定期報告 ●任期 7月1日～22年6月30日 ●募集人数 若干名 ●報酬 薄謝 ●応募方法 ハガキに住所、氏名、年齢、電話番号を明記のうえ「河川愛護モニター応募用紙希望」と記入し送付 ●申込み・問合せ 6月15日(月)までに信濃川河川事務所占用調整課(〒940-0098長岡市信濃1-5-30 ☎0258-32-3268)

介護ヘルパー養成科7月入校生募集

3か月間で介護ヘルパー2級の取得と就職を目指します。詳細は問い合わせください。 ●定員 20人 ●会場 ABC介護職員研修センター ※アルプス電気小工場内(魚沼市) ●選考日 7月3日(金) ●申込み 6月26日(金)までに最寄りのハローワークへ ●問合せ 県立魚沼テクノスクール (☎025-794-2410)

21年度国家公務員Ⅲ種(税務)募集

22年4月1日採用の職員を募集します。 ●受験資格 昭和63年4月2日～平成4年4月1日生まれの人 ●受付期間 6月23日(火)～30日(土) ●曜日 除く ※当日消印有効 ●試験日 第1次試験(教養試験・適性試験・作文) 9月6日(日) ●会場 第1次試験・人事院地方事務局が示した試験地のうち希望する会場 ●申込書請求・問合せ 関東信越国税局人事第二課試験係 (☎048-6000-3111) ●提出 第1次試験を管轄する人事院地方事務局



ごみ処理指定袋に極小サイズが加まりました(十日町・川西・松代地域のみ)

ごみ処理に使う指定袋には、燃やすごみ用・埋立てごみ用ともに大・中・小の規格がありますが、極小サイズ(5リットル)も用意しました。価格は10枚100円です。ご利用ください。 ●問合せ 環境衛生課 (☎75

オストメイト社会適応訓練事業研修会

オストメイト(人工肛門や人工ぼうこう保有者)のストーマのケアについての研修会です。 ●日時 ①6月28日(日)午前10時～午後2時30分 ②7月12日(日)午前10時～午後3時 ●会場 ①かも川本館(長岡市) ②高陽荘(上越市) ●参加費 無料 ●申込み・問合せ 雪椿友の会 (☎025-229-7775)

休日労働相談会の開催

労働に関する相談に専門家がアドバイスします。 ●日時 6月21日(日)午後1時～4時30分 ●会場 長岡地域振興局(長岡市) ●相談料 無料 ●相談員 社会保険労務士ほか 【県長岡労働相談所を利用してください】

定額給付金・子育て応援特別手当の申請をお忘れなく！

定額給付金・子育て応援特別手当は、すでに約95%の世帯への支給が終了しています。申請は9月18日(金)までの早めの申請をお願いします。申請書が見当たらない人は事務局に問い合わせください。 ●問合せ 市定額給付金・子育て応援特別手当事務局 ☎757-3691

～農産品を活用したビジネスチャンスに挑戦～創業セミナーのご案内

地元の農産品を活用した食品加工や直売所の開業、レストランの経営などに挑戦したいと考えている人や、法人化により経営力と営業力を強化したいと考えている人を対象に創業支援セミナーを開催します。

- 日時 ①6月29日(月) ②30日(火) いずれも午後1時30分～4時30分
- 会場 ①アトリウム長岡(長岡市) ②新潟テルサ(新潟市)
- 参加費 無料 ■定員 各日60人
- 内容
1. 農産物直売所の成功事例発表
 2. 創業としての農産品分野の可能性(講演)
 3. 企業組合、有限責任事業組合(LLP)及び合同会社(LLC)の仕組み
- 申込み・問合せ 県中小企業団体中央会連携推進課 ☎025-267-1100

市の共催や後援を受けるときは申請が必要です

各種行事を行う団体が、市の共催や後援を受けるときは手続きが必要です。申請書(市ホームページにも掲載)を事業に関連する課に提出してください。提出先が不明な場合は問い合わせてください。 ●問合せ 総務課秘書係(内線201)

21年経済センサス基礎調査にご協力を

7月1日(水)、経済センサス基礎調査が行われます。全国すべての事業所及び企業が調査対象となる大規模な統計調査です。この調査は、地域のまちづくり

駐車禁止除外指定車標章制度が改正されました

5月1日(金)より駐車禁止除外指定車標章制度が改正され、下肢不自由3級2項及び3項、4級各項、視覚障害4級2項、脳病変による移動機能障害3級、4級の人

【市報おわびと訂正】

●市報5月25日号に誤りがありました。表紙の写真説明で「井沢橋付近」とありましたが、正しくは「伊沢和紙工房」でした。また、11ページの平成21年度メニュー⑩市長に就任で、「小学校コンピュータ導入事業(活用額3,877万円)」とありましたが、正しくは「小学校コンピュータ導入事業(活用額387万7,000円)」でした。おわびして訂正します。

あすのわたし

▼自宅でインターネットを使い始めて十数年。いまだにダイヤルアップ接続という方法でしたので、調べものをするにも時間がかかり、動画を見るなんて夢のまた夢でした。それが、この市報が発行されるころには光回線に切り替わり、通信速度は1,000倍も速くなるようです。徒歩から急に飛行機で移動するような感覚でしょうか。

▼カエルの大合唱が聞こえてくるような田舎に住んでも、インターネットで買い物したり情報を集めたりすることが快適にできる便利な社会になりました。が、一方で犯罪やプライバシーの侵害など深刻な問題になっています。トラブルに巻き込まれないようにウィルス対策や信用がないサイトは見えないなど、使い方は気を付けたいものです。

▼身近なエコの一つが、マイバッグの持参です。オリジナルバッグを作って使っている人もいます。が、市販されているエコバッグも有名ブランドのものやキーホルダー感覚で携帯できるものなどデザインが豊富。最近ではプレゼントとしても人気があるようです。

▼エコに取り組むのとタイエットに挑戦するのは、ちょっと似ている気がします。どんなに意気込んで、普段しないことを急にやろうとすると疲れてしまうし、楽しさややりがいがないとなかなか続けられません。マイバッグ持参の魅力は、気軽に取り組めること、おしゃれとしても楽しめること。お気に入りのバッグを使うだけで、いつもの買い物にちよつと花を添えてくれます。





いっぱいはいれ
たまいい



中村寧久さん(1年)

運動会の玉入れの練習をしました。玉入れのかごを大きくうまく描きました。今度の日曜日(5月31日)の運動会が楽しみです。



キョロロのいきものを
つかまえた



柳 翔也さん(2年)

学校の勉強でキョロロに行き、田んぼの生き物を探しました。おたまじゃくしややどがいました。おたまじゃくしを大きくうまく描きました。



ジューニア芸術祭

48

松代小学校



小鳥ときょうそう



坂井進悟さん(3年)

家の近くの公園で遊んでいるとき、飛んでいる小鳥と競争したことを版画で作りました。鳥の羽を本当に飛んでいるようにしました。



楽しい海へGO



本柳翔梧さん(4年)

カメやアンコウ、ウツボが海の中で楽しく遊んでいる様子を想像して描きました。版画で魚を作るのを工夫しました。夏が来たらいっぱい海に行きたいです。



楽しかった川遊び



武田涼馬さん(5年)

5年生全員で渋海川に行き、生き物を探しました。エビを初めて見つけて、楽しかったです。魚は図鑑を見ながら細かく描きました。



たいへんだった田植え



小堺樹生さん(6年)

学校の田植えで田植えがしをしました。転んでしまいが、白い服と田植えをつまく彫ることができました。